



幸福で安定した生活をおびやかすものは、「貧乏」と「病」気、貧乏の原因の半分以上は病気に由来するものとされている。
いいかえれば病気になることも心配のない生活は幸福だといえる。
国民健康保険は幸福になるよう皆々を守っています。

石岡市いおか

8 月号
第 41 号
毎月 1 回
30 日 発行

発行所 石岡市役所
石岡市大字石岡 408 番地
電話 (代表) 30 番
発行人 鬼沢賢造
人口と世帯 (7月31日現在)
世帯数 7,271 世帯
人口 {男女 17,539 人
計 18,995 人
36,534 人

滞納処分

納税者の義務は、税金を納めることである。市税は、市民の義務である。税金を納めなかつたらどんなことになるか、もちろん市の施策により影響を与えるはずはないから、市では何とか納めてもらおうと手をつくすわけで、滞納処分というのはその最後の手段をいうのです。

さて市税はいつ納めるものか市税条例に明記してありますが、市民税は6,8,10,1,の各月の末日限り、固定資産税は5,7,12,2,の各月の末日限り、また目的税としての国保税は6,8,9,11,1,の各月の末日限りで、この外自転車荷車税、たばこ消費税電気ガス税、雑産税、木材財取引税などがあります。

それぞれ期日までに納めないと督促状を受け、この督促状には督促手数料のほかに延滞加算金と利子税が付けられているが、またこれまでは滞納処分とはいつていません。この督促状に示された期日までに税金を納めないと徴税吏員の滞納処分という実行力行使になるが、まず順序として納税勧告に当り、納税者の事情も聞き事と次第では徴収猶予や分納にも応ずる用意があります。とくに悪質な未納者に対する徴収確保をはかるために差押という手段を選ぶわけですが、差押したからとて、すぐに公賣という手を使うわけではありません。この差押物品の公賣を行うには、公賣公告後最低10日間、また事情により1年以内の徴収猶予を考慮することもあります。だから正式にいうと滞納処分とは差押から公賣までというものです。

差押のできないものとして、生活を維持する衣服や寝具、農業者の農機具、大工さんのノコギリやカンナ、サラリーマンの月給の75%、などがあります



焼窯跡を発見

石岡市史編纂委員会では、同

田舎娘を京美人に

タンス業界大いに張切る

市が開かれた。初回の盛果としては、上できの、東京、神奈川、千葉、埼玉などからも業者が訪れ、約五百余本の商取引が行われた。

国府在所を探索

石岡市史編纂委員会では、常陸国府在所が今もつて不明のため、去る二十七日中川警察工業の協力を得て、大地比低

抗測定機による礎石の探索を行つた。国府在所は、古代遺跡など総合研究の結果、今の石岡小学校

校々庭(旧石岡城跡)付近に範囲が絞られたので、才一回調査として校長室裏庭一帯の測定を行つたが、それらしいのを測定できなかったものの、近く次回測定を行うことになった。

首都圏整備委員会

工場適地を視察

東京都部を既成市街地とし、近郊都市を工業地帯とする首都圏整備第一都七県にわたる新し角度でその緒につくつあるが、日整備委員会吉岡事務局長等が当市の工場適地を五時間にわたり視察し帰京した。

本市の産業構造の主体が一次産業である農林水産業の原始産業であることは、すでに明瞭であるが、しかし、この分類配列は永久不変のものではない。

霞ヶ浦、常陸地区の工業振興計画。常陸線沿線一帯の原子力工業都市化。首都圏周辺地帯の産業の整備など構想がくましく、これに際して施設用地、供給電力、工業用水源などの具体整備化とともに近い将来における変遷は容易に予想される。

経済活動の實態把握に必要な

県内の、産業系例変はうか

開発計画 事業所調査に兆候あらわれる

ため三年毎に国が実施している事業所調査の推移をみて、昭和二十六年から二十九年の経済流動は東京、栃木、群馬、埼玉、千葉、山梨など

なかも、製造工場は土浦市の一四%、古河市の九%増加が目立ち、商店舗では石岡市の二四%、土浦市の二%増加が目覚ましいものがある。

九月末に完工

三村地区の有線放送設備は、岩崎電気通信株式会社の請負で進捗中だが、技術者八名が来村、外線工事や機具取付に大奮で九月末日完工の予定、放送経営は三村農協が行うこととなる。

県内都市の事業所数 (判明せるものだけ)

	総数	鉱業	建設業	製造業	商業	金融	不動産	運輸	電気	サービス
石岡	1,791	4	127	241	917	22	0	34	1	445
竜ヶ崎	1,405	0	87	115	804	20	2	19	2	356
古河	2,321	0	81	424	1,223	26	9	20	2	531
精進	1,884	1	93	381	937	12	3	20	2	435
太田	1,470	8	104	187	742	21	4	21	2	391
土浦	2,370	6	123	283	1,255	41	3	12	0	636
土	3,595	4	145	384	1,940	70	3	53	6	980

石岡の姿

締切 11月20日

作品搬入先 石岡市役所秘書企画課企画係 石岡市吹上通り 金令堂 石岡市香九町 前野フオートサービス

写真コンテスト

主催 石岡市 後援 石岡観光協会 石岡商工会議所 茨城県カメラ材料商組合 全日写真 石岡支部 協賛 富士フイルム

入賞

特選 一点三、〇〇〇円
入選 二点五、〇〇〇円
佳作 二点二、〇〇〇円
選外 二点一、〇〇〇円
記念品を贈る。
参加賞 県カメラ材料商組合 提供
発表 市報いおか紙上及び本人へ通知

作品規定

① 作品の大きさ(縦横)は、横が縦の二倍以内、縦が横の二倍以内、(合紙不要)点数に制限ないが未発表のものに限る。使用材料は富士フイルム製品とする。

A black and white photograph showing a large, dense crowd of people gathered in front of a multi-story building. The crowd is composed of many individuals, some of whom are holding up a banner or flag. The building in the background has several windows and a prominent entrance. The overall scene suggests a significant public gathering or protest.